

研究理論	3 年・後期	1 単位 15 コマ	教授 高橋ゆかり
科目カテゴリー	看護の統合	科目ナンバリング	34111183

1. 授業のねらい・概要

看護研究の目的・意義を理解し、研究に関する基礎的知識・理論を学習し、研究的態度を養う。

2. 学修の到達目標

1. 看護研究の意義・目的について理解できる。
2. 研究の基礎的知識について理解できる。
3. 研究における倫理的配慮の重要性について理解できる。
4. 研究方法の特徴と展開を理解できる。
5. 自己の研究課題を明確にし、研究計画書を作成することができる。
6. 研究論文の書き方、発表の方法について理解できる。

3. 授業の進め方

講義と演習を中心に進める。

4 年生の雑草祭ポスター発表会および看護研究発表会に参加し、看護研究の実践を学ぶ。

4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	看護研究とは	講義	予習：テキストの第 1 章（1）を読み、わからない言葉を調べる。 復習：看護研究の取り組み姿勢についてまとめる。	高橋ゆかり
2	看護研究の種類：研究デザイン	講義	予習：テキストの第 1 章（2）を読み、わからない言葉を調べる。 復習：研究デザインの種類と特徴をまとめる。	高橋
3	看護研究と倫理的配慮	講義	予習：テキストの第 1 章（4）を読み、わからない言葉を調べる。 復習：研究における倫理的配慮の項目とその必要性についてまとめる。	高橋
4	看護研究の方法①文献研究・質的研究	講義	予習：テキストの第 1 章（3）（5）を読み、わからない言葉を調べる。 復習：文献・質的研究の特徴をまとめる。	高橋
5	看護研究の方法②量的研究	講義	予習：テキストの第 2 章（7）を読み、わからない言葉を調べる。 復習：量的研究の特徴をまとめる。	高橋
6	看護研究の実際①：雑草祭ポスター発表 1 日目	演習	予習：1 日目プログラムから、参加する演題を選び、関連内容の情報収集をする。 復習：参加した演題の概要をまとめ、課題レポートを作成する。	高橋
7	看護研究の実際②：雑草祭ポスター発表 2 日目	演習	予習：2 日目プログラムから、参加する演題を選び、関連内容の情報収集をする。 復習：参加した演題の概要をまとめ、課題レポートを作成する。	高橋
8	研究課題の決定	講義	予習：テキストの第 2 章（1）～（5）を読み、わからない言葉を調べる。 復習：問いのリストを作成する。	高橋
9	研究計画書の作成①：課題・背景	演習	予習：テキストの第 2 章（6）を読み、わからない言葉を調べる。 復習：研究課題と枠組み決定し、先行研究を調べる。	高橋

10	抄録の書き方（口演発表会①）	演習	予習：抄録集を読み、質問内容を検討する。 復習：抄録の書き方に関する課題レポートをまとめる。	高橋
11	発表の仕方（口演発表会②）	演習	予習：口演発表の方法についてまとめる。 復習：発表の仕方に関する課題レポートをまとめる。	高橋
12	研究計画書の作成②：目的	演習	予習：研究の目的を明確にする。 復習：研究計画の作成を進める。	高橋
13	研究計画書の作成③：方法	演習	予習：研究課題にあわせ、研究方法を決定する。 復習：研究計画書の作成を進める。	高橋
14	研究計画書の作成④：倫理的配慮	演習	予習：研究デザインにあわせ、必要な倫理的配慮について調べる。 復習：研究計画書の作成を進める。	高橋
15	論文の書き方	講義	予習：テキストの第4章を読み、わからない言葉を調べる。 復習：わかりやすい文章の書き方についてまとめる。	高橋

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）50%，課題レポート50%で、総合的に評価する。但し、どちらか一方でも合格基準（60%）に満たない場合には、単位認定できない。

6. テキスト・参考文献

テキスト：足立はるゑ（2017） 看護研究 サポートブック メディカ出版

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲および、事前事後学修（学修課題）について最低1時間の予習及び授業内容について最低1時間以上の復習を行なうこと。

8. 受講上の留意事項

主体的、意欲的な授業への参加が重要である。遅刻、欠席および授業中の私語、授業中に授業に関連する作業以外の行動は、参加態度として評価対象とするので注意すること。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験実施の際に傾向や解答を口頭で説明する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。

11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における看護師としての実務経験を活かして、講義・演習を行う。